

中間検証の進め方について

1. 具体的な取組一覧（中間検証用）の概要

（1）全体的な傾向

ア. 基本目標1（周知）及び基本目標4（継続的な仕組み）

一部不十分な点はあるものの、ある程度の取組は実施されていると言える。

イ. 基本目標2（子どもの頃からのマナー教育）

もともと理念としては重要であるが、具体的な取組として想定されたもの自体が少なく、取組が十分とは言えない。（単発の取組で育まれるようなものではないため、事あるごとにマナーについて考えたり触れたりするしかけが必要）

ウ. 基本目標3（市・市民・事業者の一体的な取組）

決して十分な取組が進んだとは言えない段階であるが、新たな取組に着手できているため、今後さらに拡充させていくことが期待される。

（2）課題

イベント時にマナー条例啓発の協力を仰ぐことや、会合の時間を割いていただくこと、会報等で紙面を割いていただくことについて、地域団体（自治会やコミスク）については、その地域の課題とマッチすれば、比較のご協力が得られやすい。

一方、事業所等については、多種多様な社会貢献事業がある中で、あえてその中から「マナー条例推進に協力しよう」という動機づけは、説明の仕方や依頼の仕方に工夫（その事業者にとってのメリットの提示や必要性）がないと、難しい側面があると考えられる。

2. 検証のポイント

～皆さまにご意見をいただきたい点～（第1回～第3回共通）

（1）後期の重点プロジェクトの選定

（2）実施状況（進捗）の判断○・△・×・☆の適否

（3）今後、それぞれの具体的な取組を充実させるためのアイデア

（4）課題となっている点について打開策となるアイデア

（5）「指標」の妥当性

※指標となっている回数等については、次回事務局より報告（予定）

（6）その他ご意見・アイデア（新規取組含む）